



平成 30 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 沖 縄 銀 行
代 表 者 名 取 締 役 頭 取 玉 城 義 昭
(コード番号 8397 東証一部、福証)
問 合 せ 先 取 締 役 山 城 達 彦
総合企画部長
TEL. 098-867-2141

第 18 次中期経営計画「お客さまとともに未来を創る～Create the Future～」の策定について

株式会社沖縄銀行（頭取：玉城義昭）は、3 年間（2018 年 4 月～2021 年 3 月）を計画期間とする新中期経営計画を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 名 称 第 18 次中期経営計画
お客さまとともに未来を創る～Create the Future～
2. 期 間 3 年間（2018 年 4 月～2021 年 3 月）
3. 取組概略

日銀によるマイナス金利政策の導入や地域金融機関の統合が相次ぐなど地域金融機関を取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、2017 年の中間決算では地域金融機関の 5 割が減益になるなど厳しい経営環境が続いております。このような中、これまでの発想を変えて環境の変化に適応することができる新たな持続可能性の高いビジネスモデルの構築が必要だと考えています。

第 18 次中期経営計画では 4 つの基本戦略として、①グループの総合力の発揮、②共通価値の創造、③経営資源の配分、④働き方改革を掲げ、3 レス（キャッシュレス、ペーパーレス、オペレス）の実現に向け、おきぎんグループの総力を挙げて取組み、お客さまとともに次世代へ繋ぐ持続可能な未来を創造するステージへ進んでまいります。

詳しい内容は別添をご参照ください。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】 Tel 098 - 869 - 1253
総合企画部 経営企画管理グループ 新里

第 18 次中期経営計画

Create the Future

～お客さまとともに未来を創る～

第18次中期経営計画 2018年4月→2021年3月 3年計画

PEOPLE'S BANK

 沖縄銀行

第18次中期経営計画のスタートにあたり

頭取 玉城 義昭

環境変化への対応

第17次中期経営計画期間中には、日銀によるマイナス金利の導入、地域金融機関の統合が相次ぐなど地域金融機関を取り巻く環境は目まぐるしく変化しております。また、2017年9月期の中間決算では、地銀全体の5割が減益になるなど厳しい環境が続いております。これまでの発想を変えて、新たなビジネスモデルを構築していく必要があります。環境の変化に適用することが持続可能性の高いビジネスモデルだと考えています。

中期経営計画の目的

中期経営計画では4つの基本戦略として、①総合力の発揮、②共通価値の創造、③経営資源の配分、④働き方改革を掲げ、お客さまとともに未来を創ってまいります。そこへ向け3レス（キャッシュレス、ペーパーレス、オペレス）を実現し、お客さまの利便性の向上を図ってまいります。ひいては、おきぎんグループの総力により地域社会とともに次世代へ繋ぐ持続可能な未来を創造するステージへ進んでまいります。

お客さま目線

おきぎんは「親しみやすい銀行、郷土の発展に貢献する銀行」が創業の精神のもと、地域密着・地域貢献を経営理念としております。経営理念、行是、おきぎんの行風は「お客さま目線」に集約されております。

これからも「お客さま目線」で県民に一番愛される銀行“ピープルズバンク”そして総合金融サービスグループのおきぎんグループとして地域社会の発展に寄与してまいります。

おきぎん SPIRITS

経営理念・行是・おきぎん行風

経営
理念

地域密着・地域貢献

“おきぎん”は「地域に密着し、地域に貢献する」ことを経営理念として掲げ、地域社会の発展に寄与することを大きな使命とし、地域社会と共に成長してきました。今後も一貫してこの姿勢を基本とした経営理念のもとに行動します。

行是

使命・奉仕・業績向上・和・自己研鑽

使命 銀行の公共的使命を自覚し地域社会の発展に寄与しよう
奉仕 真心と感謝をこめて顧客に奉仕しよう
業績向上 商魂に徹し、業績の向上に努めよう
和 秩序を重んじ、和を尊び明るい職場を造ることに努めよう
自己研鑽 知性を磨き、品性を高め、創意と進取の精神を涵養しよう

おきぎん
行風

7つのおきぎん行風

- 着実さ** 小口の資金を一つ一つ積み上げる。
- 誠実さ** 誠実に顧客に対応する。
- 堅実さ** 堅実経営にてゆるぎない基盤。
- 継続安定成長** 急成長ではなく、絶え間ない継続安定成長。
- 親しみやすさ** 庶民の銀行として創業し、敷居の低さ、親しみやすさの歴史。
- 透明性** 透明性の高い開かれたガバナンス（経営）。
- 風通しのよさ** 上下左右の風通しが良い職場環境。

1. 第17次中期経営計画の成果

第17次中期経営計画の成果

	経営数値目標	18/3期 (計画)	18/3期 (見込)
収益性	① 連結当期純利益 ROE	4.5%程度	4.2%程度
	② コア業務純益	72 億円	75 億円
成長性	③ 法人メイン先数 取引先数 25%増	7,000 先	7,295 先
	④ 個人メイン先数 取引先数 25%増	350,000 先	327,262 先
健全性	⑤ 開示債権比率	2% 程度	1.5% 程度
	⑥ 自己資本比率	11% 程度	11% 程度

環境変化

マイナス金利導入

生産年齢人口減少

高齢化社会

デジタル化の進展

働き方改革

**ビジネスモデルの
再構築**

2. 経営環境の認識

おきぎんを取り巻く経営環境

世界的な動き

経済の回復は引き続き順調

地政学リスク

全国的な動き

地方創生（人口減少と高齢化）

他業態との競争

ICTの進展によるサービスの変化

沖縄県内の動き

沖縄 21 世紀ビジョン

沖縄県人口増加計画

沖縄県アジア経済戦略構想

好調な公共・民間工事

那覇空港滑走路増設事業
沖縄都市モノレール延長事業
リゾートホテル計画 など

観光入域客数：好調なインバウンド

2016 年度 876 万人
(国内 664 万人、海外 212 万人)

人口増加、世帯数の増加

長期的には人口、世帯数とも減少局面を迎えることが予想されるため、自然増、社会増など人口増加策を展開

県内金融機関を含めた競争の激化

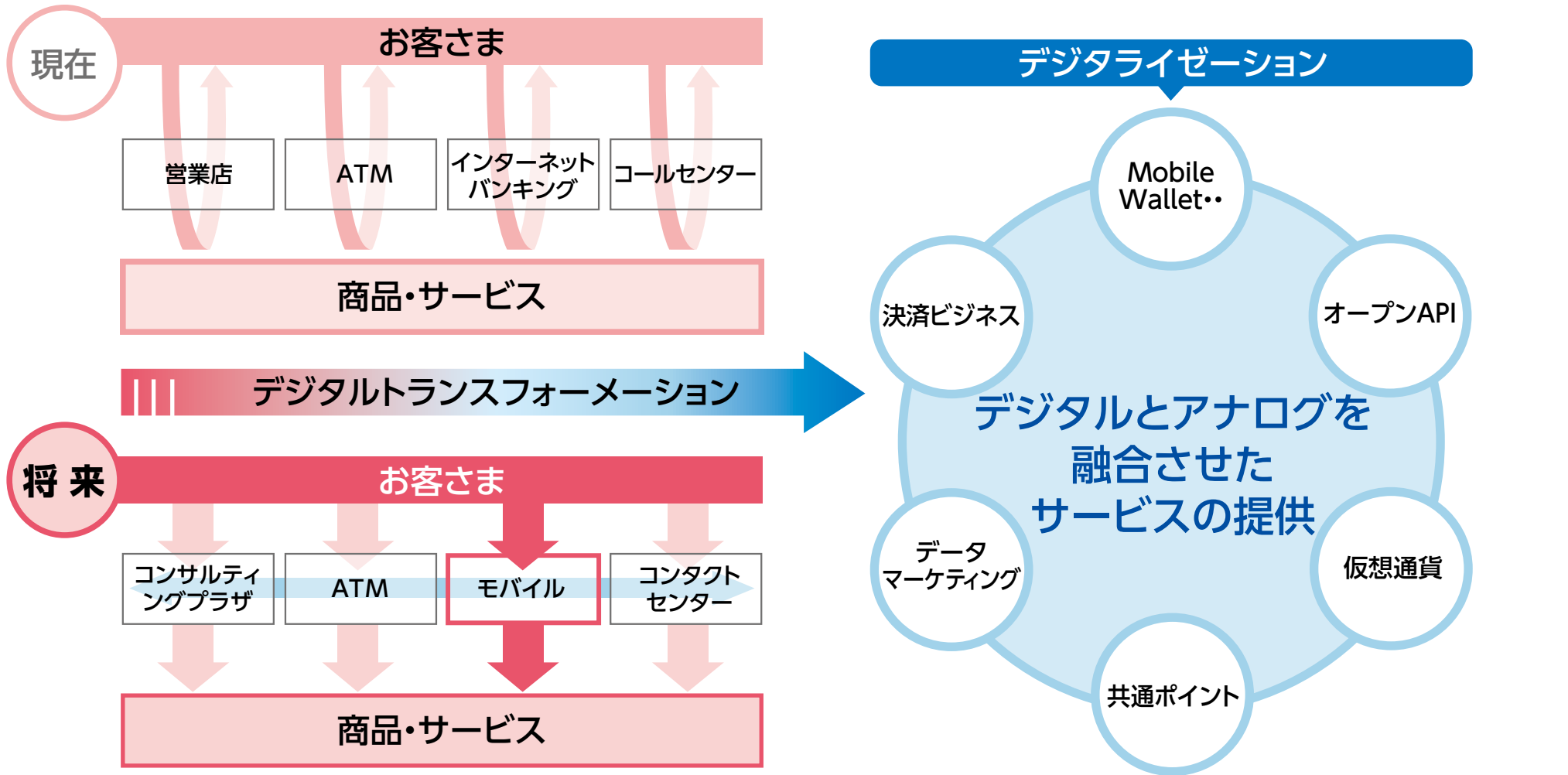
県内では県外他行の進出、ネット銀行など競争が激化するなかで、持続可能なビジネスモデルを構築していく

【将来人口の推計：国立社会保障・人口問題研究所】

単位：千人	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
沖縄	1,410	1,416	1,414	1,404	1,390	1,369
全国	127,095	125,325	122,544	119,125	115,216	110,919

3. 銀行の未来の姿

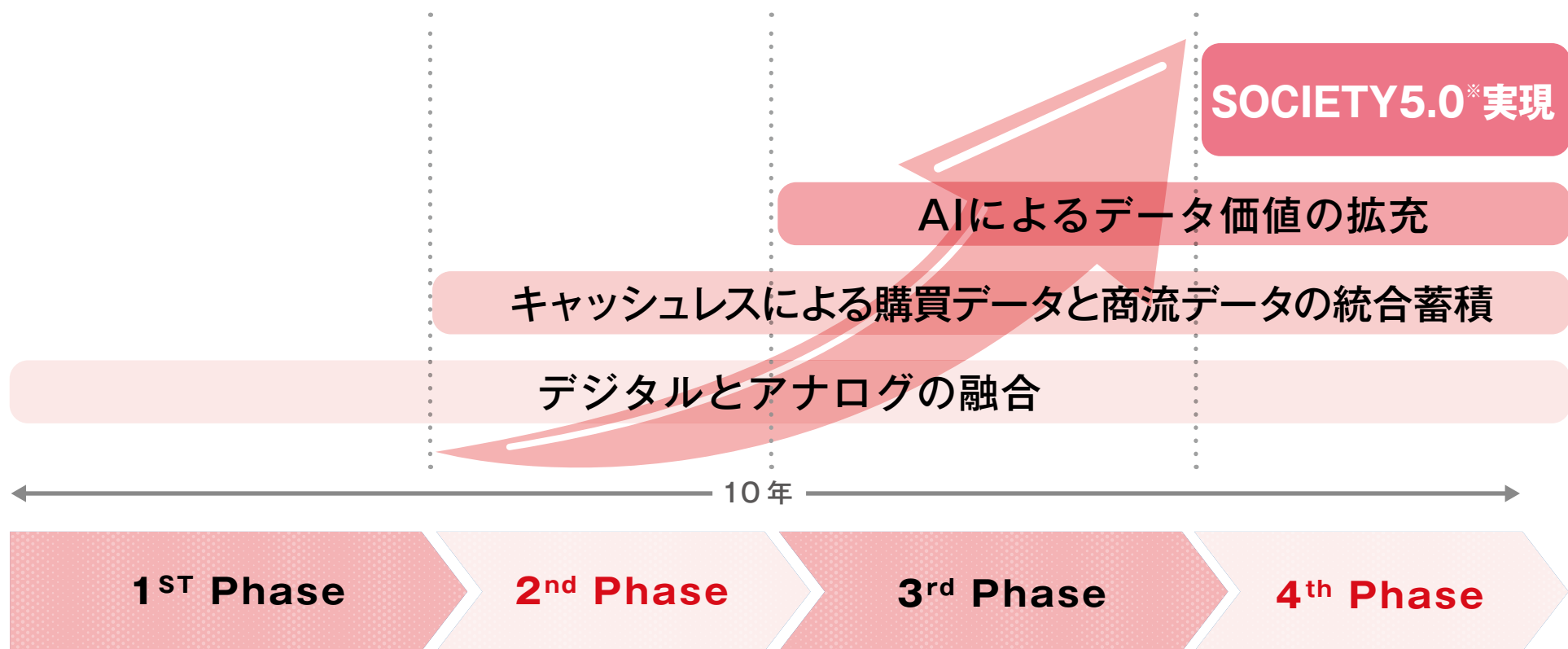
未来の姿



4. おきぎんグループの目指すべき姿

目指すべき姿：先進的なICTを活用した地域とともに成長するおきぎんグループ

ICTを活用したデジタルトランスフォーメーションのサポートによるお客さまの利便性の向上を図るとともに、アナログ（Face to Face）との融合を図ることで、カスタマーエクスペリエンスを実現し、地域とともに成長する地域 No.1 バンクの実現



※SOCIETY5.0：政府の成長戦略で定めており、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）（出典：未来投資戦略2017 内閣官房日本経済再生総合事務局）

5. 第18次中期経営計画の基本方針（名称・ビジョン）

名称

第18次中期経営計画：基本方針

お客さまとともに未来を創る ~Create the Future~

- おきぎんグループの総力により地域社会とともに次世代へ繋ぐ持続的な未来を創造
- 業務革新により生み出された時間と高品質人材でお客さまとの接点領域を拡大し、価値を共創
- お客さまの良質な資産形成、事業の継続性を支援することでお客さまとおきぎんグループの未来を創造

期間

2018年4月～2021年3月(3カ年)

ビジョン

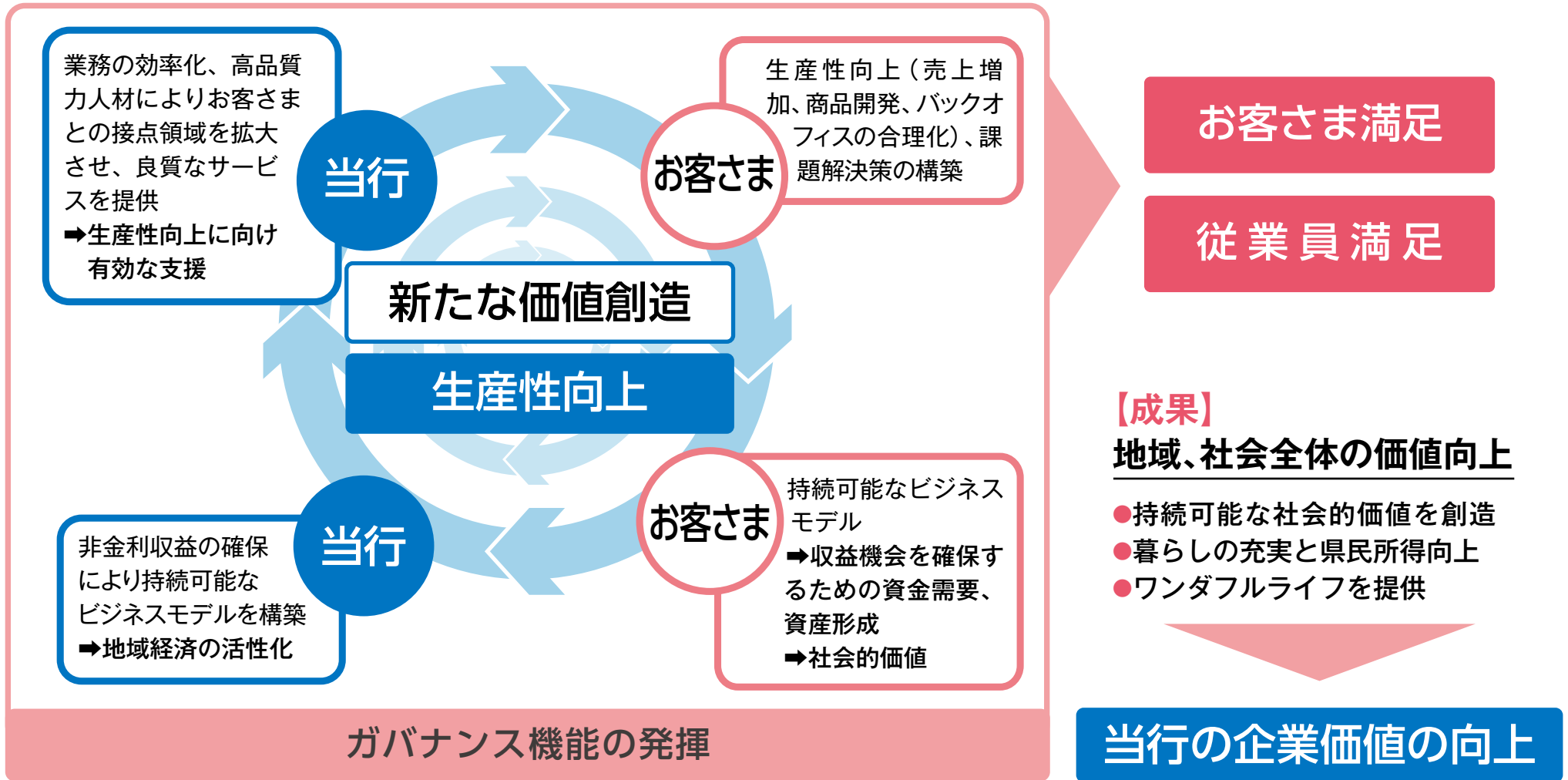
**新たな発想で取組み、お客さまとともに
新たな価値を創造する銀行**



第17次中計の新たな価値創造の考えを踏襲しながら、新たな発想で、事業領域の拡大、おきぎんグループの総合力によるサービスの拡大を図り、地域社会の発展に寄与することを大きな使命とし、お客さまとともに新たな価値を創造する総合金融サービスグループを目指してまいります。

6. 第18次中期経営計画の基本方針①





お客さまとともに未来を創る ～地域社会全体の生産性向上～



6. 第18次中期経営計画の基本方針②

新中期経営計画における戦略



 <p>戦略I 総合力の発揮 (グループ収益力改革)</p>	<p>おきぎんグループ全体で連結を強く意識し、連結による収益力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①総合金融サービス業（銀行、リース、証券、クレジットカードなどお客さまの利便性向上）の強化 ②グループ企業の業務の見直しなどにより収益力強化を図る
 <p>戦略II 共通価値の創造 (サービス力改革)</p>	<p>FinTech、ICTによる新たなサービス（簡単・便利・オトク・安心）の提供と更なる業務革新を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ①商品・サービスの改革を図り、お客さまから支持を得る ②業務プロセスの改革を図り、業務の見直しによるお客さま、営業店の支援を図る
 <p>戦略III 経営資源の配分 (コスト改革)</p>	<p>経営資源の有効配分、コスト意識の醸成（費用対効果の検証）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①従来型の店舗戦略や渉外活動の革新を図り、デジタル投資へ資源配分を図る ②営業店、成長分野への人的リソースの有効配置
 <p>戦略IV 働き方改革 (人事制度改革)</p>	<p>真の従業員満足を実現するために、働き方改革を実現し、生産性向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人事制度の見直し ②高品質人材（コンサルティング能力の向上、良質な資産形成に寄与）

ルールベースとプリンシプルベースの実践

ガバナンス機能の発揮による戦略の着実な遂行

7. 第18次中期経営計画の基本戦略

基本的な考え

	総合力の発揮 (グループ収益力改革)	共通価値の創造 (サービス力改革)	経営資源の配分 (コスト改革)	働き方改革 (人事制度改革)
 総合力の発揮 (グループ収益力改革)	連結収益力の強化	グループによるサービス力強化(銀行、証券、リース、クレジットカードなど)	グループ企業の業務の見直し	総合金融サービスが提供できる態勢整備
 共通価値の創造 (サービス力改革)	お客さまの生産性向上に向けたサービス拡充 (ベンチマークへの取組み)	キャッシュレス	非対面チャネルの実現に向けたICT投資	CIPSの積極的な活用による課題解決
 経営資源の配分 (コスト改革)	営業・成長分野への人的リソースの配置	オペレーショナル・エクセレンス	戦略的経営資源の配分	ICTによる人材育成 (eラーニング、web会議システムなどの活用)
 働き方改革 (人事制度改革)	グループ内での人材交流	課題解決、良質な資産形成に寄与する人材育成	女性・シニア活躍推進	人事制度の見直し

8. 公表する経営数値目標

Create the Futureで目指すべき経営数値目標

	経営数値目標	2018/3期 (見込み)	2021/3期
収益性	① 連結当期純利益ROE	4.2%程度	4%程度
	② コア業務純益	75億円	75億円程度
	③ コアOHR	73%程度	70%程度
成長性	④ 法人メイン先数 取引先数10%増	約7,300先	約8,000先
	⑤ 個人メイン先数 取引先数10%増	約320,000先	約350,000先
健全性	⑥ 開示債権比率	1.4%程度	1%程度
	⑦ 自己資本比率	11%程度	10%程度

お客さま満足度を高め、当行のお取引先数を拡大することで着実な経営基盤を構築する。

■法人メイン先

⇒ SR先+準SR先

(継続的に訪問する先+
貸出金平残50百万円以上先)

■個人メイン先

住宅ローン、給振口座、年金
口座のいずれかの契約先

※経営数値目標は、経済状況の変化などにより見直しを行う場合があります

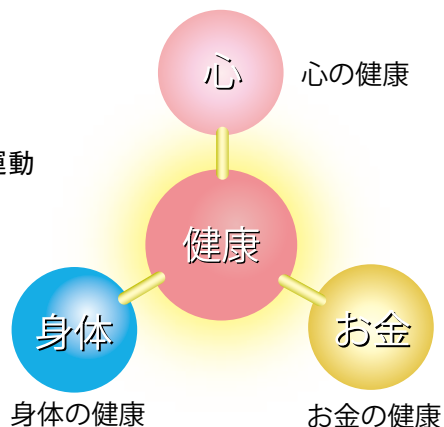


健康のおきぎんとして 取り組んでいます

健康は元気な沖縄の資源です

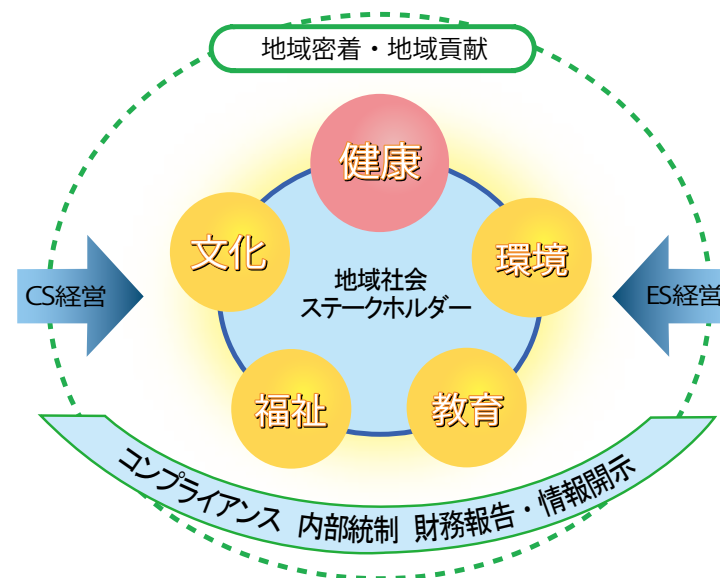
長寿日本一復活キャンペーン

- ◆ ウォーキング大会参加
沖縄県ウォーキング協会提携
那覇市医師会提携
各市町村単位でのウォーキング行事参加
- ◆ がんじゅう割引
- ◆ 医療福祉業界との提携
- ◆ 各種スポーツイベントへの協賛
- ◆ 役職員への儉約・節約・健康推進運動



沖縄銀行のCSR（社会的責任）宣言

沖縄銀行は銀行経営を通して、健康・環境・教育・福祉・文化へ貢献した経済活動を行います。



沖縄銀行 CSR方針

- 健康**：県民をはじめ役職員の健康推進へ貢献し、長寿日本一復活を目指す
- 環境**：地域環境の保全・改良へ貢献し、県民と共に美ら島（ちゅらしま）沖縄県を創り上げる
- 教育**：次世代への教育に貢献し、持続的な地域社会の発展に寄与する
- 福祉**：地域福祉事業に貢献し、万人（うまんちゅ）の住み良い社会作りへ寄与する
- 文化**：地域文化の発展に貢献し、特色ある文化圏を県民と共に継承する

